

2011年度

科目名	倫理学概論A			
担当教員	林 進			
配当	文財2・人社2		コード	54035
開期	前期	講時	金曜日4限	単位数 2
授業テーマ	ヨーロッパの倫理思想概観			
目的と概要	ヨーロッパの倫理思想を古代から中世を経て近代のカントの辺まで概観する。			
成績評価法	学期末のレポート(50%)と平常点(50%)で評価する。			
テキスト	プリント配布			
参考書	授業の中で紹介する			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	知への愛と欲をもって授業に臨むこと			
講義計画				
第1回	オリエンテーション——倫理学とは何か			
第2回	古代ギリシアの倫理（1）——自然哲学から人間哲学へ（ソクラテス以前）			
第3回	古代ギリシアの倫理（2）——ソフィストとソクラテス			
第4回	古代ギリシアの倫理（3）——プラトン			
第5回	古代ギリシアの倫理（4）——アリストテレス			
第6回	ヘレニズムとローマ帝国の倫理——個人主義的かつ世界主義的			
第7回	キリスト教倫理（1）——ユダヤ教と原始キリスト教			
第8回	キリスト教倫理（2）——教父哲学とスコラ哲学			
第9回	近代の始まり——ルネサンスと宗教改革（プロテスタンティズムの倫理）			
第10回	近代科学（哲学）の成立（1）——経験論（ベーコン、ロック、バークリー、ヒューム）			
第11回	近代科学（哲学）の成立（2）——合理論（デカルト、スピノザ、ライプニッツ）			
第12回	カントの道徳論（1）——認識と自由			
第13回	カントの道徳論（2）——定言命法と善意志			
第14回	自由と必然——人間に自由はあるのか（スピノザ、カント、ニーチェ、サルトル、バーリン）			
第15回	まとめ			